

県南部の秋まきたまねぎ栽培に適する品種と定植時期

【1 成果概要】

県南部の秋まきたまねぎ栽培における適品種と定植時期について検討したところ、中晩生品種「もみじ3号」は腐敗や障害球が少なく、収量確保水準の単収5tに達することから、県南部の秋まき栽培に適します。また、定植時期は10月中旬が最も適します（表1）。

表1 定植時期と品種が1球重、収量等に及ぼす影響（R3産・R4産 2カ年平均）

定植時期	品種名	過半数倒伏日		りん茎 横径 (mm)	りん茎 高さ (mm)	1球重 (g)	欠株 率(%) ***	腐敗 球率 (%)	裂皮 球率 (%)	外部 分球 率(%)	抽苔 率(%)	商品収量 (t/10a)**	備考
		R3産	R4産										
①10月上旬	オーロラ	6/6	6/13	86.1	72.4	266.7	1.7	7.3	4.3	0.5	17.7	4.32	乾腐・抽苔多
	W808	6/11	6/14	85.5	72.3	260.2	0	0	0.4	7.1	14.2	4.51	分球・抽苔多
	もみじ3号	6/13	6/21	84.2	75.8	270.1	1.4	0	0.8	0	4.5	5.56	抽苔やや多
	ラッキー	6/21	6/23	89.7	73.7	287.1	2.4	3.8	5.1	0.7	10.8	4.93	裂皮・抽苔多
②10月中旬	オーロラ	6/5	6/14	82.7	69.1	236.1	2.8	0.8	1.7	0	10.8	4.45	抽苔多
	七宝甘70	6/6	6/13	84.8	69.6	251.3	1.0	0.8	8.4	0.8	10.8	4.49	裂皮・抽苔多
	ターボ	6/5	6/12	79.3	67.2	212.6	0.7	0	2.1	1.1	1.7	4.45	やや小玉
	ターザン	6/6	6/13	78.0	70.1	214.5	0	0	0.4	0	0	4.73	やや小玉
	OP黄	6/6	6/12	77.5	68.8	206.1	0	0	0.4	1.5	2.1	4.35	やや小玉
	W808	6/13	6/17	82.0	69.0	235.4	0.7	0.8	2.1	3.5	2.1	4.76	分球やや多
	もみじ3号	6/17	6/22	82.2	72.3	248.9	0	0.8	0.8	0	0	5.44	
	ラッキー	6/23	6/25	89.2	70.6	280.2	0.3	5.0	10.4	0	1.0	5.28	腐敗・裂皮多
③10月下旬	もみじ3号	6/21	6/26	81.5	71.7	244.8	2.1	0	1.3	0	0.3	5.35	欠株やや増加
	ラッキー	7/1	7/1	87.9	67.9	264.7	3.8	6.7	21.8	0	0	4.04	腐敗・裂皮多
④11月上旬	もみじ3号	6/22	6/23	74.7	65.8	187.1	4.5	1.3	0	0	0.3	3.89	やや小玉、欠株やや増加
	ラッキー	7/2	6/30	85.5	65.2	241.4	8.0	2.5	25.0	0	0	3.56	欠株・裂皮多
⑤11月中旬	もみじ3号	7/12	6/28	60.5	52.4	112.1	50.7	0	0.6	0	0	0.97	小玉、欠株甚
	ラッキー	7/14	7/8	72.3	55.5	163.9	34.0	17.3	19.4	3.3	0	1.22	小玉、欠株甚、腐敗・裂皮多

※1区40球、3反復調査

※※規格外、欠株、腐敗球、裂皮球、外部分球、抽苔球を除いたもの

※※※生育が著しく劣る株も欠株に含めた

【2 効果】

秋まきたまねぎの適品種・定植適期を明らかにし、本県産たまねぎの収穫時期・出荷時期の拡大に寄与します。

【3 留意事項】

- (1) 本試験は無マルチ栽培での結果であり、加工業務用の機械化収穫体系を想定したものです。
- (2) 育苗期間は50～60日を目安とします。詳細は「野菜栽培技術指針」を参照してください。
- (3) 秋まき栽培では連作による乾腐病の増加が懸念されるため、輪作や定植時の薬剤灌注に努めてください。また、べと病やネギアザミウマ防除のため、適切な薬剤散布を実施してください。
- (4) 秋まき栽培における施肥量、施肥時期や、地干し乾燥作業を行う際の収穫開始の目安は他の研究レポート（No. 1092、No. 1053）を参考にしてください。
- (5) 詳細については、「令和4年度試験研究成果書」をご覧ください。

【4 適応対象】

- (1) 地帯 県南部
- (2) 対象者 農業普及員、JA営農指導員等